

「大切にしたいもの」

伊東市立対島中学校三年 中島 莉麻

皆さんはスマートフォンを持っていますか。私はつい最近、やっと「スマホ」を持つことができました。それは新しい世界に飛び込んだような気分でした。私が中学生になった頃には、もう同級生の多くがスマホを持っていました。私もとても欲しくてその世界に入りたかった。だから手に入れたときは本当に嬉しかったです。

皆さんはスマホで何をすることが好きですか。私は自分の好きなことや気になったことを、さらに深掘りして調べることが好きです。スマホはいつでもどこでも調べることができるととても便利です。無限の可能性を秘めた扉を開けるような、わくわくする体験ができます。また、友達とのつながりもぐんと広がりました。学校の間だけでなく、家に帰ってからも、友人とお互いの考えを共有したり、笑いや夢を語ったりしました。スマホの時間は私にとって大切なものになりました。スマホには私たち人間を繋ぐ力があります。

しかし、スマホは人を切り離す力も持っていました。

それは私がまだスマホを持っていなかった頃のことです。友達と一緒にいるとき、私以外の友達が皆スマホを持っていて、自分のスマホに夢中になっていることがあったのです。そしてそれは一度や二度ではありませんでした。

「今ここに私はいるのに、どうして他の人とやり取りしているんだろう。」

「どうして目の前にいる私より、スマホの画面を見ているの？」

私は今この瞬間を友達と一緒に楽しめたかったし、楽しんでほしかった。でも私が話しかけても、スマホをいじっている友達からは、気のない返事ばかりが返ってきます。私は涙があふれてくるような、自分だけ置いていかれたような気持ちになりました。友達と仲が悪いわけではありません。友達も私をいじめているような意識はないと思います。でもこのとき感じた疑問や寂しさや、ひんやりとした空気を、私ははっきりと思い出することができます。

私は人の声を聞き、相手の表情や仕草を見ながら、人と向き合って話す時間が好きです。五感を使った会話は心地よいし、そういう会話ができる人を私は大切にしている気がします。でもスマホがあると空気が変わってしまいます。スマホに夢中になりすぎて自分をコントロールできなくなっている人を、私は何度か見てきました。大人できえ、そうになってしまうスマホの力。スマホを手にした今、私も感じることもあり、気をつけないと私も同じような状態になってしまうのかもしれないと少し怖くなります。私自身、スマホを無意識に触ってしまうことがあり、この危うさを持っていなかったときとは違った感覚で感じることもあります。自分も使う立場となり、以前のように、なぜそんなに夢中になるのかと怒りをぶつけるのではなく、「どうすればこの強力なツールを使いこなすことができるのだろうか」と、冷静に考えるようになりました。

スマホは正しく使えば本当に便利で、私たちの生活を豊かにしてくれます。依存症や中毒症などの危険性は無視できませんが、使う人次第だと思います。私の人生に入ってきたスマ

ホという強力なツール。私はこのツールとどうつきあっていけばいいのか考えました。そしてたどり着いた考えがあります。それは「自分自身に忠実であること」。つまり、自分らしく生きるために、「本当に自分が大切にしたいもの」を見失わないことです。私たちの夢、価値観、面と向かって関わる人とのつながりを私は大事にしたい。スマホで知らない世界とつながることはとても興味深いことです。でもつながり方によっては、自分にとって大切なものや時間を失ってしまうかもしれない。もしかしたら自分の周りにいる人の大切なものを奪ってしまうかもしれません。スマホを持っていなかった頃に私が感じた違和感と同じものが、ここにあるような気がします。

私は人とふれあい、その人自身を感じながら話す時間が好きです。それはかけがえのない時間だと思います。未来の私たちが語り合うとき、その手にはスマホがあるかもしれない。でも語り合う相手は目の前にいて、その人の温かさや人となりを私は感じたいと思います。スマホの力を使ってでも、私はその人を感じながら語りたい。私たちが生きていくこれからの未来が、豊かであたたかいものとなるように祈っています。